

MAZDA ROADSTER (ND)

DAMD パフォーマンスステアリングホイール DPS358-M 取付け手順 及び DPS 通信システム結線説明書

必要工具



*** 取付け時のご注意 ***

- 必ず平坦な場所で取付けを行って下さい。
- ステアリングはタイヤが真っ直ぐになるように調整してからイグニッションスイッチ OFF にし、作業に取り掛かってください。
- エアバッグを外した状態でイグニッションスイッチ ON にすると警告が出る場合がございます。この場合は、エアバッグを戻しエンジンをかけて時間をおくと初期状態に戻ります。

車両側、及びステアリング側の DPS への電源取付につきましては、車種、年式、グレード等で空きコネクタの位置が違う場合があります。テスターで車両側、及びステアリング側の空き端子の導通を確認後メス端子をコネクタに挿入してください。

| | | |
|------|-----------------|------|
| 構成部品 | DPS本体 | 1 |
| | OBDIIコネクタ・送信部 | 1 |
| | 受信部 | 1 |
| | 電源部ハーネス(赤) | 1 |
| | 電源部4Pハーネス | 1 |
| | 結束バンド / 配線固定フック | 各本/2 |
| | アース用 M5×15 ボルト | 1 |
| | 2A マイクロヒューズコネクタ | 1 |

DPS本体

OBDIIコネクタ・送信部

受信部

結束バンド / 配線固定フック

送信部配線図

アース用M5×15ボルト

電源部ハーネス(赤)

2Aマイクロヒューズコネクタ

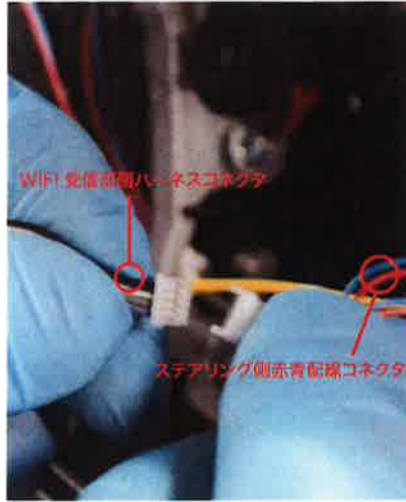
電源部4Pハーネス

手順 1 : 付属の SS358-M 取付説明書を参考に現在装着されているステアリングを取り外します。純正ステアリングスイッチの組み付けを行ってから DPS へ配線していきます。

手順 2：電源部 4P ハーネスのアース線
黒の丸型ターミナルを
ステアリング中央右の
付属のボルトで固定します。



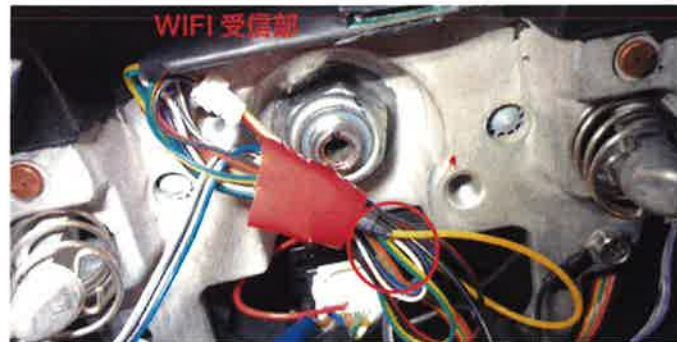
手順 3：ステアリング側の WIFI 受信部のハーネスとステアリング側左右から出ている
赤、青配線コネクタを L/R 間違わないように 2 箇所結線し、
電源部 4P ハーネスのコネクタも WIFI 受信部と結線します。
4P ハーネス黄色の配線は使用しないので折り返し、テーピングし保護しましょう。



① ステアリング両側から出ている赤と青のケーブルがついた
コネクタを受信部のコネクタと左右とも結線します。
※L/R 間違えないように注意してください。

② 電源部 4P ハーネスコネクタも受信部と結線します。

手順 4：ステアリングホイール内の各ケーブルハーネスと WIFI 受信部をエアバッグのホーンスプリング部分に干渉したり噛み込まないよう
付属の結束バンド等で、まとめて固定し、DPS を車体に取り付けます。



○のように各ケーブルハーネスと WIFI 受信部配線を結束バンド等でまとめます。

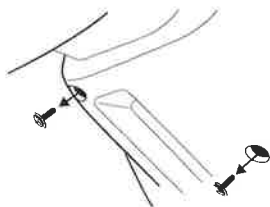
手順 5：ステアリング後方のコラムカバーのビスを 2 箇所外し、チルトレバーを下げ、カバーを取り外します。

この時点で送信部と OBD II を装着し、

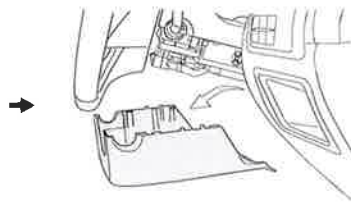
付属の送信部ギボシ雌端子と電源部ハーネス（赤）のギボシ雄端子をつなぎ、電源部ハーネス（赤）をコラムカバーまで通し配線します。

同様にパッセンジャーシート足元左にあるヒューズボックスアクセサリ電源に付属の 2A ヒューズコネクタを繋ぎ

電源部ハーネス（赤）を結線します。



①ビスを 2 箇所外す



②チルトレバーを下げ
コラムカバーを外します



取付位置

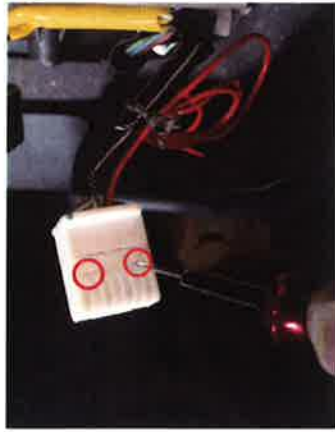


手順 6 : 車両側ロールコネクタの 14 ピンメスコネクタ (12370) の 10 番へ
付属配線の電源部ハーネス (赤) を挿入します。

A・・・端子リリースツール



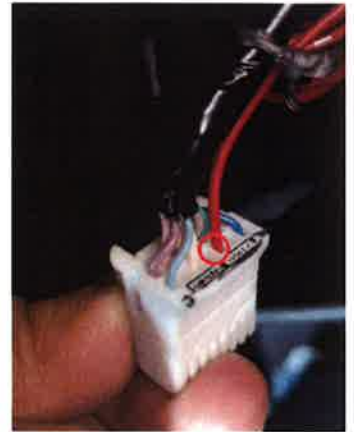
① 外したコラムカバーの
○位置にあるロールコネクタ
メス端子を外します。



② コネクタの○クリップ嵌合を
A等で持ち上げ外します。



③ ○10 番の位置を確認します。



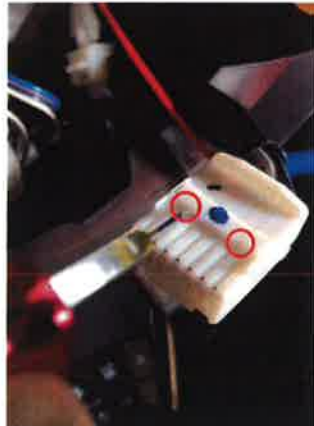
④ コネクタに付属配線の
電源部ハーネス (赤) を
○10 番へ挿入し、
クリップの嵌合を戻し、
コネクタを元の位置に戻します。

手順 7 : ステアリングホイール側 メインコネクタ (12370)5 番へ
付属配線の電源部 4P ハーネスの赤端子を接続します。

A・・・端子リリースツール



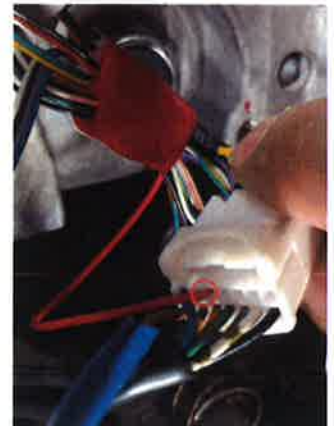
① ○のコネクタを外します。



② コネクタの○クリップ嵌合を
A等で持ち上げ外します。

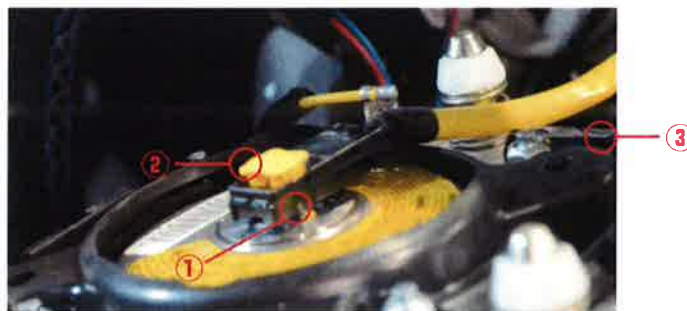


③ ○5 番の位置を確認します。



④ コネクタに付属配線の
電源部 4P ハーネス (赤) を
○5 番へ挿入し、
クリップの嵌合を戻し、
コネクタを元の位置に戻します。

手順 8 : ステアリングのエアバッグコネクタ及びホーン信号端子を取り付けステアリングに戻します。



戻す順番は①エアバッグコネクタ→②エアバッグ安全ピン→③ホーン信号端子の順番で戻してください。

手順 9 : バッテリーマイナス側を元に戻します。

手順 10 : イグニッションボタンでエンジンを始動させ DPS の作動確認を行います。作動確認が終わりましたら
取り外したコラムカバーを元に戻し取り付け終了です。
付属の取扱説明書に従い (チャンネル設定、輝度調整、G センサー設定、ピーク回転数の設定等) 各設定を行ってください。

※お取り付けに際しご不明点等がございましたら弊社までお問い合わせくださいませ。

株式会社 ダムド
DAMD Inc.
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266
<http://www.damd.co.jp>

MAZDA ROADSTER 専用 DAMD スポーツステアリングホイール SS358M 取付け手順

必要工具



プラスドライバー



マイナスドライバー



10mm スパナ



LED ペンライト



21mm ソケットレンチ
(十字レンチでも可)

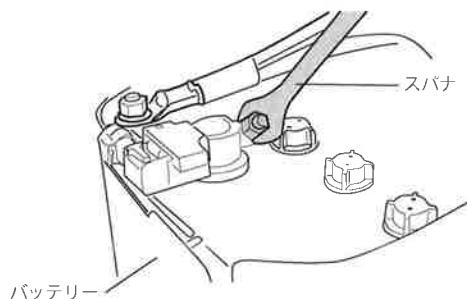


* 取付け時のご注意 *

- 必ず平坦な場所で取付けを行って下さい。
- ステアリングはタイヤが真っ直ぐになるように調整してからイグニッションスイッチ OFF にし、作業に取り掛かってください。
- エアバッグを外した状態でイグニッションスイッチ ON にすると警告が出る場合がございます。この場合は、エアバッグを戻しエンジンをかけて時間をおくと初期状態に戻ります。

手順1：必ずイグニッションスイッチ OFF にしてバッテリーのマイナス端子を外し、ショートしないように端子の保護固定を行います。
作業開始までに1分以上待機して下さい。

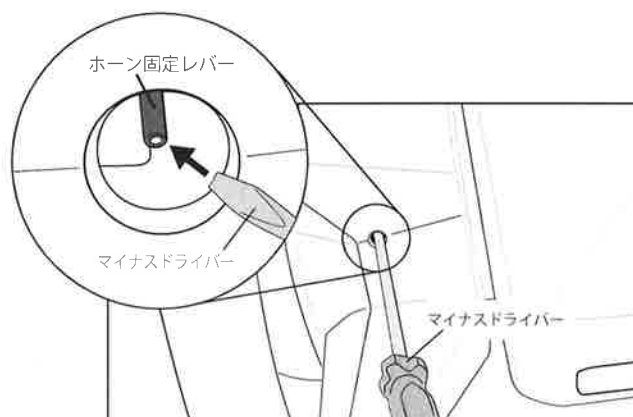
* すぐに作業を始めるとエアバッグに信号が送られる可能性があります。



手順2：図示の順にステアリング穴をペンライトなどで照らしながら黒い固定レバーをドライバーで浮き上がるまで押し、エアバッグを外してください。(全3箇所)

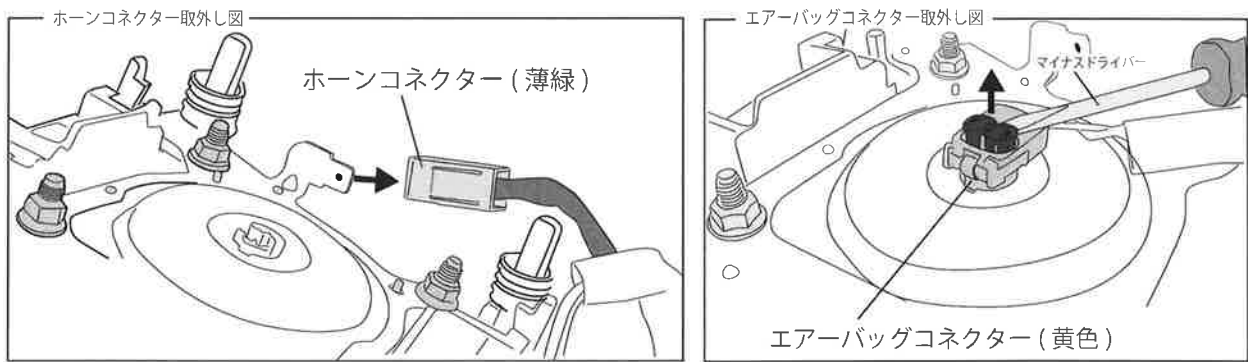
※ 3つ目のホーン固定レバーを外す際はホーン本体を支えながら取外してください。ホーン本体が落ちて傷が付く恐れがあります。

ステアリング表面図
(パドルシフトなし)



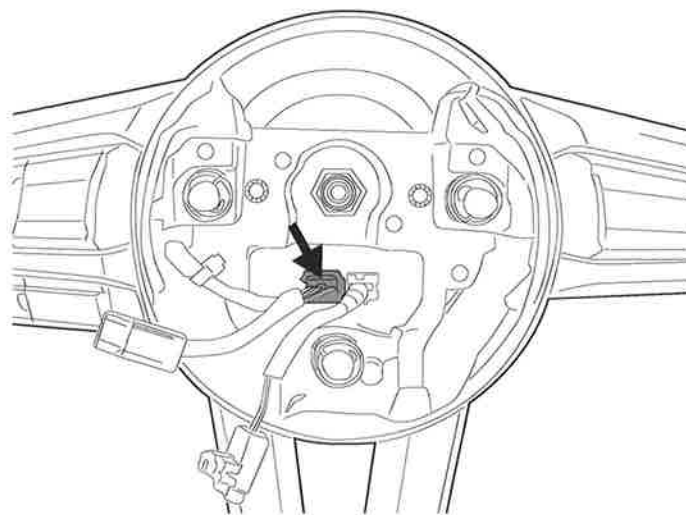
手順3：図を参考にホーンコネクター、エアバッグコネクターを取り外してください。

※エアバックコネクターは黒いストッパーをマイナスドライバーにて外してからコネクターを取外して下さい。



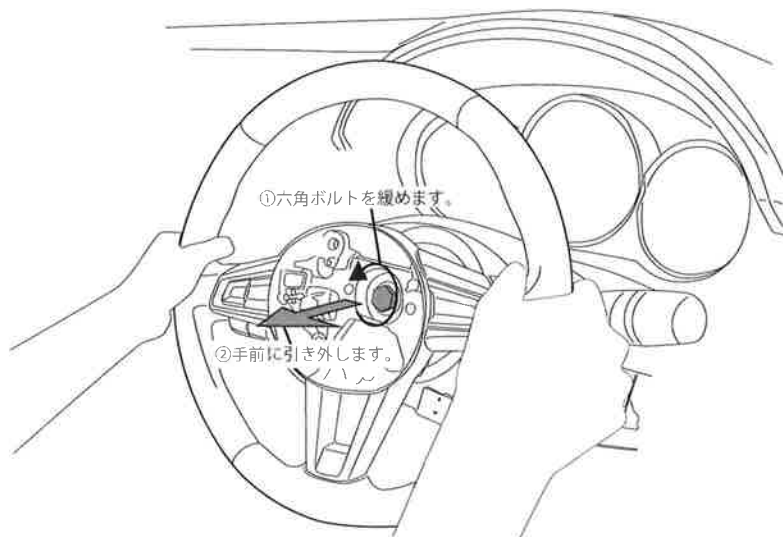
手順4：図を参考にホーンコネクター/スイッチコネクターを取り外してください。

※図はマツダコネクタ搭載車両になります。年式、型式によってコネクターの数が異なります。



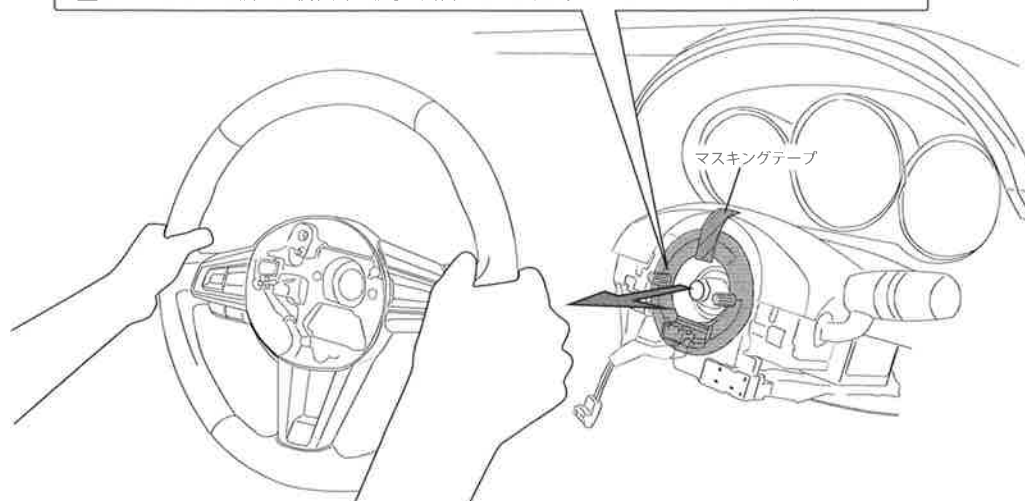
手順5：図の手順を参考にステアリングをセンターに合わせ、21mmのソケットレンチ又は十字レンチにて六角ボルトを5～6回転程回し緩くし、ステアリングを引き外します。

△完全にボルトを外してしまうとステアリングを引き外す際に勢い余って怪我をする恐れがあります。

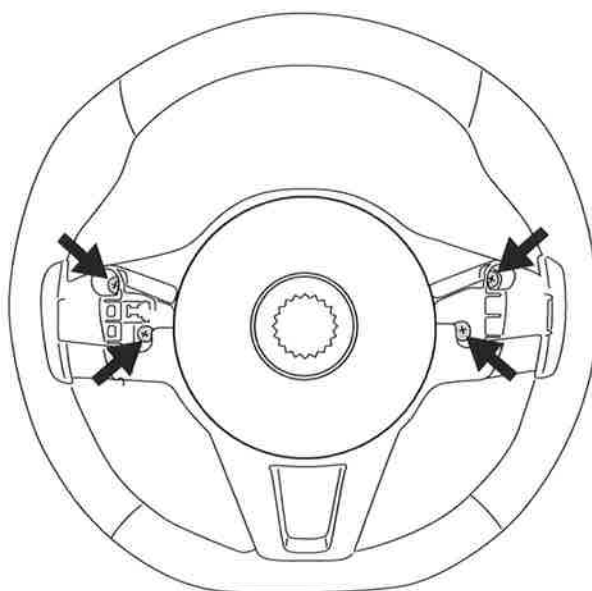


手順6： 手順5にてステアリングを引き外したら、緩めたボルトを完全に取外し、ステアリングを車体から外してください。

△ステアリングを取外した後、図の部分回転しないように、マスキングテープなどで固定して下さい。

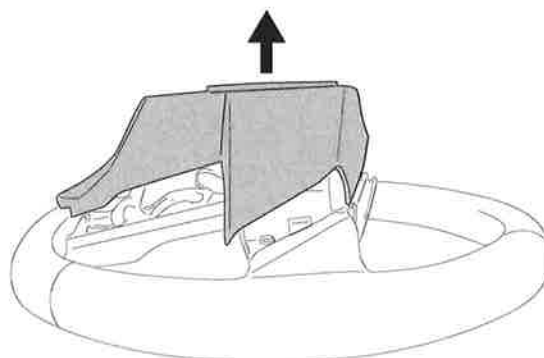


手順7： パドルシフト付きのステアリングは、図示を参考にステアリングカバーのビスを外して下さい。(全4箇所)




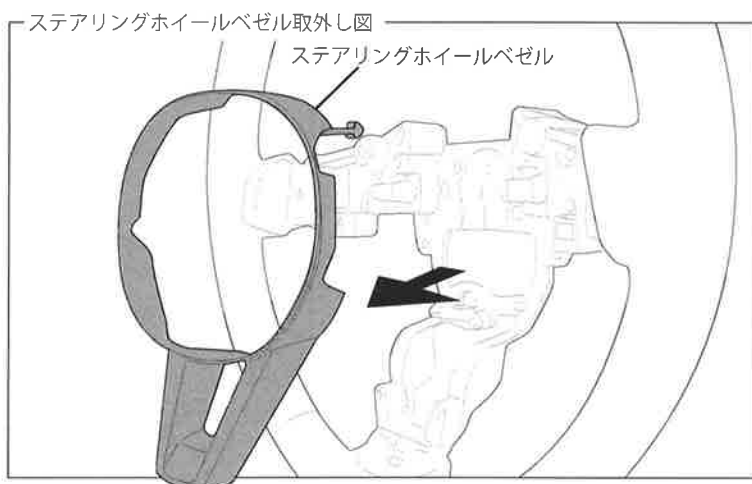
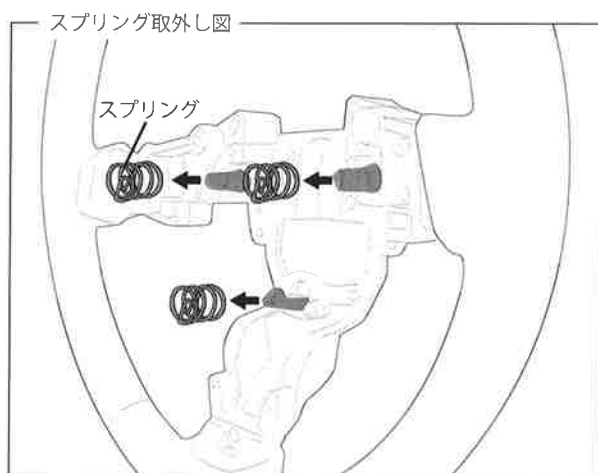
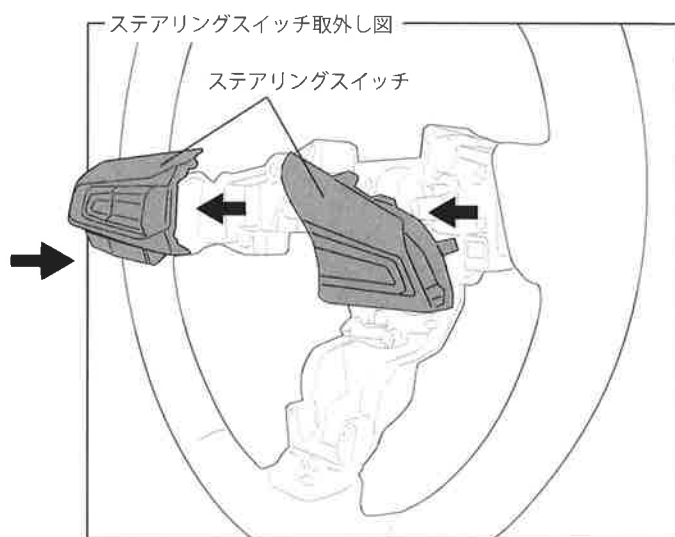
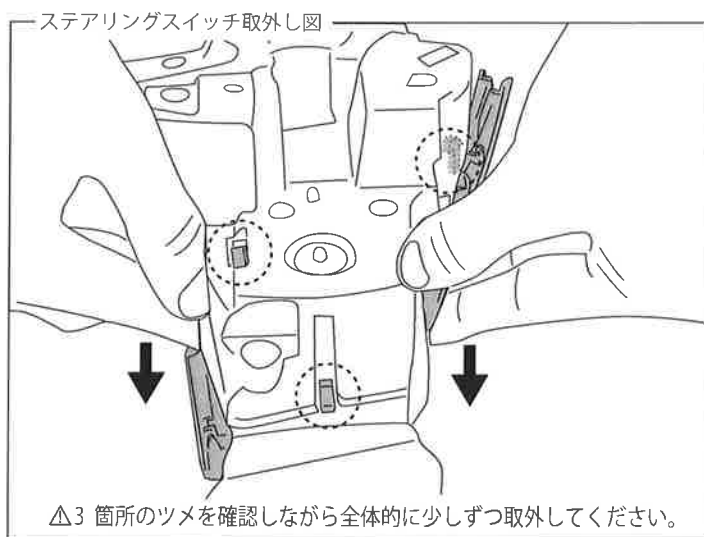
手順8： 図を参考にステアリングカバーを取外します。

⚠ 非常に硬い為、無理に外すと破損する可能性があります。取り外す際は全体的に少しずつゆっくり取外して下さい。
温かい環境で作業することをお奨めします。



手順9 : 図を参考にスプリング、ステアリングスイッチ、ステアリングホイールベゼルを取外します。

 非常に硬い為、無理に外すと破損する可能性があります。取り外す際は全体的に少しずつゆっくり取外してください。
温かい環境で作業することをお奨めします。



手順10 : 取外した逆の手順でDAMDスポーツステアリングに各パーツを取り付け、バッテリーのマイナス端子を戻し、ステアリングの取付けは完了です。
お疲れ様でした。



ダムド パフォーマンスステアリング（DPS） 通信システムの結線に関する説明書

本説明書について

DPS は日本国内で販売されている純正車両をベースとした各車両の取付ならびに詳細な結線説明書をキットに同梱しておりますが、各車両のグレード/年式/販売国等により結線の仕様が異なる場合がございます。その場合、ステアリングホイール側とロールコネクタ側の各コネクタ端子の導通をテストの抵抗値にして確認して、施工にあたっていただく必要がございます。

この説明書は基本的な DPS の結線について説明を行ない、上記のような理由により付属結線説明書と仕様が異なった場合に、より深く DPS の配線についてご理解をいただく為の結線に関する汎用説明書です。

施工前にこちらの説明書を必ずお読みいただき、基本的な結線方法と DPS の配線・結線についてご理解の上、作業・ご対応をいただきますようお願い申し上げます。

各作業の詳細に関しましては、各車両の取付ならびに結線説明書をご確認ください。

【DPS への電源供給】

DPS は車両のアクセサリ電源を利用します。

DPS 送信部には車両情報を取得する OBD II コネクタが付属していますが、車両側の OBD II コネクタ端子には**アクセサリ電源が供給されている車両**と**供給されていない車両**があります。

1. OBD2 コネクタ端子にアクセサリ電源が供給されている車両の場合

OBD2 コネクタを接続することによりアクセサリ電源が供給されるため、付属の延長ハーネスをコラムカバー内のロールコネクタ端子に挿入し、既存の配線を介して、ステアリングホイール側の DPS 本体ならびに DPS 受信部へ電源供給（12V）を行ないます。

2. OBD2 コネクタ端子にアクセサリ電源が供給されていない車両の場合

付属のヒューズ付きホルダを使用し、ヒューズボックス内のアクセサリヒューズ（ACC fuse）より延長ハーネスで送信部まで電源を供給します。

ACC 電源取得後は、上記<1>と同様に延長ハーネスにてコラムカバー内のロールコネクタ端子を介してステアリングホイール側の DPS 本体ならびに DPS 受信機へ電源供給（12V）行ないます。

【ロールコネクタ側のコネクタ端子の結線】

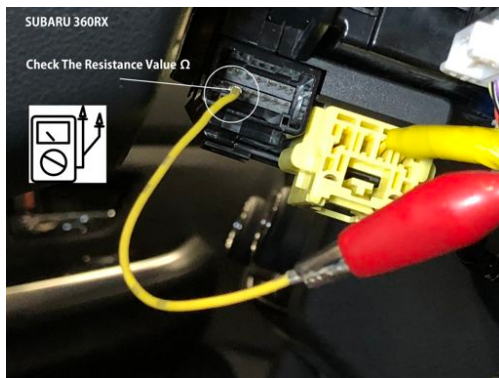
※ 以下の作業は必ずイグニッションスイッチが OFF の状態、及びバッテリーマイナス端子を外した状態で作業を行なって下さい。

A. ロールコネクタ側のコネクタ端子に空きがある場合

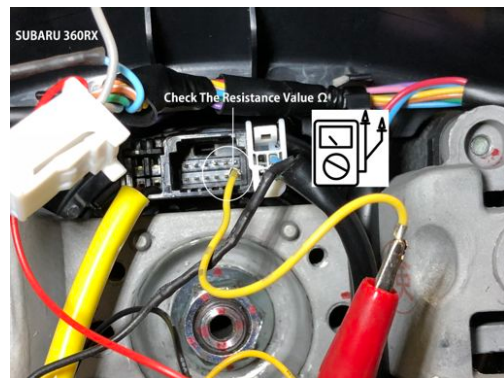
＜STEP 1＞ 導通の確認

ロールコネクタ側のコネクタ端子とステアリングホイール側のコネクタ端子の導通を行い、テスタの抵抗値をチェックして、何番のコラムカバー側のコネクタ端子と、何番のステアリングホイール側のコネクタ端子が接続されているかを確認します。

※ 車両や年式、グレードにより接続されているコネクタの端子位置が異なりますので、ご注意下さい。



ロールコネクタ側



ステアリングホイール側

＜STEP 2＞ ロールコネクタ端子への接続

コネクタの端子の接続位置を確認したら、ロールコネクタ側のコネクタを外し、コネクタのロックピンを引き上げ、導通のある位置へ DPS の端子を挿入し、ロックピンを押し込み、端子を固定した後、ロールコネクタ側のコネクタを再度差し込みます。

＜STEP 3＞ ステアリングホイール側コネクタ端子への接続

ステアリングホイール側のコネクタを外し、導通を確認したコネクタ端子の空き部分に、＜STEP 2＞と同様にロックピンを引き上げ、導通のある位置へ DPS 受信機電源ハーネスのプラス側端子を挿入し、ロックピン押し込み端子を固定します。

DPS 受信機電源ハーネスのマイナス側をステアリングホイールのダイキャスト部分に、ネジ等で固定し接続、グラウンド（マイナス配線）の接続を行います。

B. ロールコネクタ側のコネクタ端子に空きがない場合

ステアリングホイール側のコネクタ端子に空きがある場合と無い場合があります。

① ステアリングホイール側のコネクタ端子に空きがある場合。

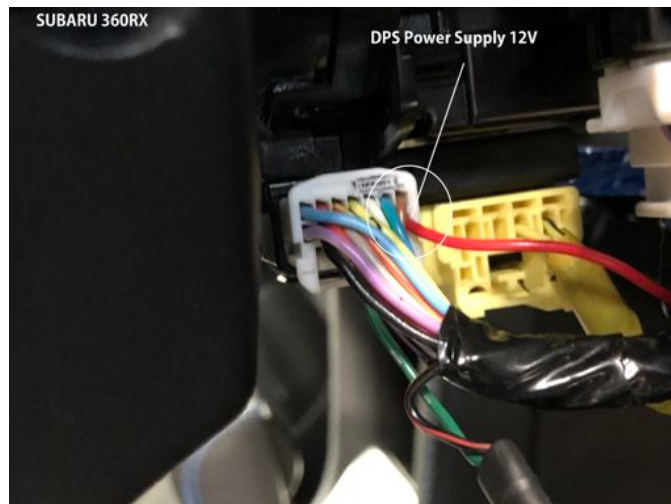
<STEP 1> 導通の確認

ロールコネクタ側のコネクタ端子に使用していない配線があります。

ロールコネクタ側のコネクタを外し、ステアリングホイール側のコネクタ空き端子とロールコネクタ側の各端子の導通をテストの抵抗値でチェックし、ロールコネクタ側と何番の端子がステアリングホイールの空き端子と導通しているか確認します。

<STEP 2> ロールコネクタ側端子の差し替え

ステアリングホイール側のコネクタ空き端子と導通があった位置のロールコネクタ側端子をコネクタのロックピンを引き上げて抜きます。抜いた箇所に DPS の送信部から分配されている電源ハーネスの端子を差し込み、ロックピンを押し込んで固定し、コネクタを元に戻します。引き抜いた純正ハーネスの端子はテーピング等を行い、必ず絶縁処理を行なって下さい。



ロールコネクタ側

<STEP 3> ステアリングホイール側コネクタへの接続

ステアリングホイール側のコネクタを外し、導通を確認したコネクタ端子の空き部分に、<STEP 2>と同様にロックピンを引き上げ、導通のある位置へ DPS 受信機電源ハーネスのプラス側端子を挿入し、ロックピン押し込み端子を固定します。

DPS 受信機電源ハーネスのマイナス側をステアリングホイールのダイキャスト部分に固定し、グラウンド（マイナス配線）の接続を行います。

② ステアリングホイール側のコネクタ端子に空きがない場合。

〈STEP 1〉 ロールコネクタ端子マイナス（グラウンド）配線の確認

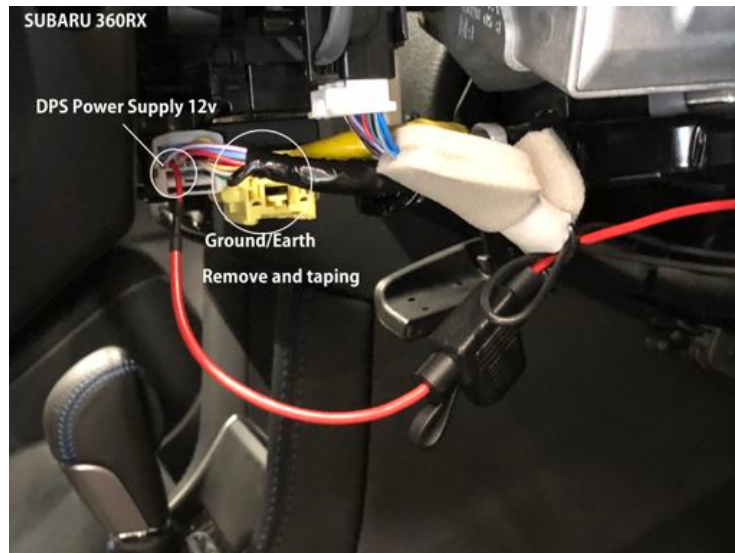
ロールコネクタに供給されているマイナス（グラウンド）配線を利用します。

車両ごとの配線図、または配線図が無い場合はテストを用いてロールコネクタ側のコネクタを抜き、マイナス（グラウンド）配線のコネクタ端子番号を確認します。

〈STEP 2〉 ロールコネクタ側端子の差し替え

〈STEP 1〉にて確認したマイナス端子をロールコネクタ側のコネクタのロックピンを引き上げて抜きます。抜いた箇所に DPS の送信部から分配されている電源ハーネスの端子を差し込み、ロックピンを押し込んで固定し、コネクタを元に戻します。

引き抜いた純正ハーネスの端子はテーピング等を行い、必ず絶縁処理を行なって下さい。



ロールコネクタ側

〈STEP 3〉 ステアリングホイール側コネクタへの接続

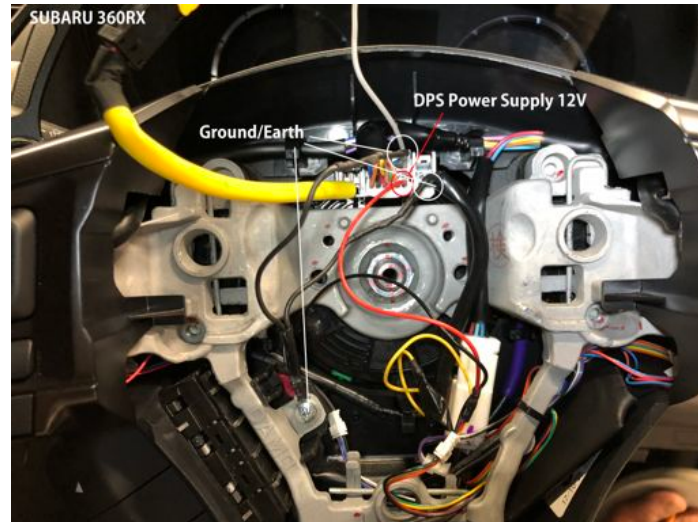
ステアリングホイール側コネクタを外し、ロックピンを引き上げ、導通を確認したマイナス配線のコネクタ端子を抜きます。

（ステアリングホイール側のマイナス配線位置は2か所ある場合があります。）

抜いた端子と付属のマイナス配線用ハーネスを接続して、収縮チューブで絶縁処理と接続部分の補強を施します。

導通を確認し、マイナス端子を抜いたコネクタ端子の空き部分に、DPS 受信機電源ハーネスのプラス側端子を挿入し、ロックピン押し込み端子を固定します。

DPS 受信機電源ハーネスのマイナス側と付属のマイナス配線用ハーネスの丸端子をステアリングホイールのダイキャスト部分に固定し、グラウンド（マイナス配線）の接続を行います。



ステアリングホイール側

【導通の最終確認】

各結線が完了しましたら、イグニッションスイッチを入れアクセサリ電源が供給される状態で DPS の送信機側、受信機側の作動を確認してください。

送信機の LED が全て点灯・点滅し、ステアリングホイール側の DPS 表示部の LED が点灯、モニター一部にも情報が表示されれば、結線は完了です。

〈送信機のエラー識別〉

赤色の LED が点灯しない場合は、電源が供給されていません。

緑色の LED が点滅しない場合は、車両情報が供給されていません。

オレンジ色の LED が点灯しない場合は、ステアリングホイール側の受信部との WIFI のペアリングが完了していません。

上記の状態、また DPS 表示部の反応が確認出来ない場合は、再度結線の状態をご確認ください。

ペアリング方法につきましては、取扱説明書に記載されていますのでご確認ください。